

『第二言語としての日本語の習得研究』
Acquisition of Japanese as a Second Language

投稿規定

本誌では、以下の要領で論文を一般公募します。

新たな視野からの日本語習得研究の発表の場として、是非ご投稿ください。

1. 投稿資格

資格は問わない。(第二言語習得研究会は会員組織ではないので、誰でも投稿できる)

2. 投稿可能な論文

第二言語としての日本語の習得に関する論文で、未発表のもの。

次の論文は、未発表論文とし、本誌への投稿を受け付ける。

- ・他の雑誌に投稿、公刊していないもの
- ・学会・研究会予稿集に掲載したもの
- ・科学研究費報告書に掲載したもの
- ・未公刊の博士論文・修士論文の一部

次の論文は、未発表論文とせず、本誌への投稿は認めない。

- ・他の学会誌や協会誌に掲載したもの、投稿中のもの
- ・大学・学部・研究室の紀要等に掲載したもの
- ・市販雑誌に掲載したもの
- ・学会の **proceedings** など、会のあとで本にまとめられたもの

※剽窃、及び二重投稿は、厳にこれを慎むこと。発覚した際には投稿を無効とする。

3. 使用言語

日本語および英語とする。

4. 論文の種類

- (1) 一般研究論文：著者のオリジナルな研究をまとめたもの。追究する研究課題の価値を当該研究分野に位置づけた上で、妥当性のある方法によって結果を報告し、十分な考察を加えることが求められる。
- (2) 事例研究論文：実践的な研究および試行的な研究をまとめたもの。報告する価値のある研究課題や実践について、妥当性のある方法によって、結果を報告することが求められる。
- (3) 展望論文：ある特定分野の最近の研究動向、今後の展望を著者の観点からまとめたもの。複数の論文を紹介するだけのものは展望論文とはしない。

5. 提出書類および様式

- ・A4版横書き原稿のMS Word及びPDFファイルを別紙と共にメールに添付して送付すること。
- ・別掲の投稿書式に従って執筆すること。(採択された際には、別途詳細な本誌書式を送付する)
- ・規定枚数 (一般研究論文と事例研究論文は18枚、展望論文は21枚) 厳守で執筆すること。

- ① 原稿（以下の項目を以下の順序で、38 字×35 行×18 枚（展望論文は 21 枚）以内で整える。
全てのページにページ番号および行番号（連続番号）を付ける。

日本語論文

論文名

執筆者名および所属（査読の段階ではジャーナル委員会が削除し匿名化する）

要旨（400 字以内）

キーワード（5 項目以内）

本文（図表，注，参考文献，資料を含む）

英語要旨（規定枚数内の最後の 1 ページ全てをこれに当てる）

論文名

執筆者名および所属

要旨（200 語以内）

キーワード（5 項目以内）

英語論文

論文名

執筆者名および所属（査読の段階でジャーナル委員会が削除し匿名化する）

要旨（200 語以内）

キーワード（5 項目以内）

本文（図表，注，参考文献，資料を含む）

日本語要旨（規定枚数内の最後の 1 ページ全てをこれに当てる）

論文名

執筆者名および所属

要旨（400 字以内）

キーワード（5 項目以内）

- ②別紙（以下の項目を，原稿とは別ファイルに記載する）

論文の種類，論文名，執筆者名，所属機関，連絡先（住所，メールアドレス）

謝辞・クレジット等（審査の段階では本文には記さないこと）

6. 掲載原稿の著作権について

掲載原稿については，著作権のうち，複製権，翻訳・翻案権，公衆送信・伝達権を第二言語習得研究会に無償で譲渡することとする。ただし，執筆者本人は，第二言語習得研究会の許諾を得ず，掲載原稿の複製，翻訳・翻案，公衆送信・伝達を行うことができる。

7. 投稿締切り

次号（第 26 号）掲載分は，2023 年 1 月 31 日（日本時間 23 時 59 分必着）を締切りとする。

8. 送付先

第二言語習得研究会 ジャーナル委員長 岩崎典子 E-mail : jasla.journal.25.26@gmail.com